

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公開番号】特開 2001-319246 (P2001-319246A)
【公開日】平成 13 年 11 月 16 日 (2001.11.16)
【出願番号】特願 2000-133803 (P2000-133803)
【国際特許分類】

G 0 6 T 17/40 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 17/40 A

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 2 日 (2007.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像を貼り付けるための 3 次元モデル画像を生成する生成手段と、
前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける貼付手段と、
前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける余地があるか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段によって余地が無いと判断された場合は、余地を生成するべく前記 3 次元モデル画像を拡大する拡大手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記判断手段は、前記 3 次元モデル画像内における、画像貼付面の余地にとりうる矩形の面積を取得し、該取得された面積に基づいて前記余地の存否を判断することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記貼付手段は、前記 3 次元モデル画像の空間内に画像を貼り付ける領域を特定する枠を予め設定しておき、指定された画像を指定された枠に貼り付けることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 前記判断手段は、未使用の枠が存在するか否かに基づいて余地の存否を判断することを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】 前記拡大手段は、3 次元モデルの 3 次元方向のうちの少なくとも 1 方向を拡大することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】 画像を貼り付けるための 3 次元モデル画像を生成する生成工程と、
前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける貼付工程と、
前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける余地があるか否かを判断する判断工程と、

前記判断工程によって余地が無いと判断された場合は、余地を生成するべく前記 3 次元モデル画像を拡大する拡大工程とを備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 7】 前記判断工程は、前記 3 次元モデル画像内における、画像貼付面の余地にとりうる矩形の面積を取得し、該取得された面積に基づいて前記余地の存否を判断することを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理方法。

【請求項 8】 前記貼付工程は、前記 3 次元モデル画像の空間内に画像を貼り付ける領域を特定する枠を予め設定しておき、指定された画像を指定された枠に貼り付けることを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理方法。

【請求項 9】 前記判断工程は、未使用の枠が存在するか否かに基づいて余地の存否を判断することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理方法。

【請求項 10】 前記拡大工程は、3 次元モデルの 3 次元方向のうちの少なくとも 1 方向を拡大することを特徴とする請求項 6 に記載の情報処理方法。

【請求項 11】 コンピュータによって実行される制御プログラムを格納した記憶媒体であって、コンピュータに、

画像を貼り付けるための 3 次元モデル画像を生成する生成工程と、

前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける貼付工程と、

前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける余地があるか否かを判断する判断工程と、

前記判断工程によって余地が無いと判断された場合は、余地を生成するべく前記 3 次元モデル画像を拡大する拡大工程とを備える情報処理方法を実行させる制御プログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するための、本発明の情報処理装置は例えば以下の構成を備える。即ち、

画像を貼り付けるための 3 次元モデル画像を生成する生成手段と、

前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける貼付手段と、

前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける余地があるか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段によって余地が無いと判断された場合は、余地を生成するべく前記 3 次元モデル画像を拡大する拡大手段とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

又、上記の目的を達成するための本発明の情報処理方法は例えば以下の工程を備える。すなわち、

画像を貼り付けるための 3 次元モデル画像を生成する生成工程と、

前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける貼付工程と、

前記 3 次元モデル画像内の空間に画像を貼り付ける余地があるか否かを判断する判断工程と、

前記判断工程によって余地が無いと判断された場合は、余地を生成するべく前記 3 次元モデル画像を拡大する拡大工程とを備える。